

施策1：地域におけるスポーツ推進
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1		実施主体	子育て支援課子育て推進課 スポーツ振興課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	幼児期の運動遊び啓発事業					
取り組み内容	講座や刊行物の発行等、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施する。					
事業目標	指標	啓発活動の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施					
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施	実施	実施	実施	実施	
2017年度の具体的な取り組み内容	保護者や利用者に向けての刊行物発行の際に各年齢の運動発達についてや幼児期の運動遊びの大切さや推進、運動あそびの紹介をした。ほけんのポスターを園内に掲示し、保護者や子どもが閲覧できるようにした。 子育てひろばの中で利用者と一緒に体操を実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-2		実施主体	指定管理者		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	指定管理者による幼児スポーツ教室事業					
取り組み内容	幼児を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。 ・総合体育館：ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5～6歳児対象) ・サン町田旭体育館：ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5～6歳児対象) ・室内プール：幼児スクール※自主事業 ・成瀬クリーンセンターテニスコート：キンダークラス(4～6歳児対象)※自主事業等					
事業目標	指標	教室参加者数		計画初期値	4,670名	
				目標水準	5,170名	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		4,770名	4,870名	4,970名	5,070名	5,170名
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		4,348名	6,026名	7,616名	8,692名	
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○総合体育館 ・4歳～就学前の幼児を対象とした事業を定期的に実施した。(延参加者数2,908名) ○室内プール ・夏季期間を除く通年、幼児スクールを5期に分け週4クラスの頻度で実施した。(延参加者数3,672名) ○成瀬クリーンセンターテニスコート ・テニススクールでキンダークラスを実施した。(延参加者数150名) ・4歳～6歳児を対象とした夏休み早朝ジュニアレッスンを実施した。(延参加者数79名) ○サン町田旭体育館 ・4歳～就学前の幼児を対象とした体操教室を3期にわたり実施した。(延参加者数1,683名) ○野津田公園 ・野津田公園お楽しみファミリー駅伝は、原則的に小学生の兄弟姉妹と保護者の参加を条件としているが、こどもマラソン大会の参加者に繋げるきっかけ作りとして、未就学児の参加希望があれば参加を可としている。(参加者数200名) 					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-3		実施主体	子育て支援課 子育て推進課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	乳幼児及び子育て家庭への身体づくりの推進					
取り組み内容	A: 乳幼児及び保護者を対象に、ボランティアや大学生、ホームタウンチームによる身体活動の指導や交流を行う。 B: 市立保育園の保育士を対象に、身体づくり・体育遊びに関する研修を行う。					
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	計画作成		A: 年5回 B: 年5回	A: 年5回 B: 年5回	A: 年10回 B: 年10回	A: 年10回 B: 年10回
実施状況		A: 年38回 B: 年5回	A: 年22回 B: 年5回	A: 年9回 B: 年5回	A: 年11回 B: 年5回	
2017年度の具体的な取り組み内容	A: 保育園児を対象としたホームタウンチームによるサッカー教室やボランティアによる運動活動プール指導を通して、身体活動の指導や交流を行った。 地域の乳幼児向けにボランティアによるリトミックやエクササイズ、親子でのリズム遊びなどを実施した。ボランティアとして民生主任児童委員の協力を得て実施した。 B: 保育園職員を対象に、体育あそびの研修を行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-4		実施主体	児童青少年課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	幼児・親子向けプログラム(フィットネス、レクリエーション)					
取り組み内容	当事業は、利便性が高く、日ごろから多くの子どもや親子の利用がある子どもセンターにて実施する。 市内の子どもセンターで、幼児とその保護者を対象とした身体を動かすプログラム(フィットネス、レクリエーション)を定期的に実施する。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	実施		
			目標水準	実施		
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	実施					
実施状況		実施	実施	実施	実施	
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもセンターまあち <ul style="list-style-type: none"> ・0歳～就学前の乳幼児親子を対象とした事業を37回実施した。 ・1歳～就学前の乳幼児親子を対象とした事業を4回実施した。 ・2歳以上の幼児親子を対象とした事業を1回実施した。 ・町田地域子育て相談センターと連携し、0歳～3歳の乳幼児親子を対象とした事業を1回実施した。 ○子どもセンターぱお <ul style="list-style-type: none"> ・0歳～就学前までの乳幼児親子を対象とした事業を35回、小山で8回実施した。 ・堺地域子育て相談センターと連携し、乳幼児とその保護者を対象とした事業を1回実施した。 ・0歳～1歳6ヶ月までの乳幼児親子を対象とした事業を3回行った。 ○子どもセンターばお分館わーお <ul style="list-style-type: none"> ・新生児～6ヶ月までの乳幼児親子を対象とした事業を11回実施した。 ・1歳～3歳までの幼児親子を対象とした事業を4回実施した。 ・3ヶ月～1歳半/2歳～就学前の親子を対象とした事業を6回実施した。 ○子どもセンターつるっこ <ul style="list-style-type: none"> ・0歳～就学前までの乳幼児親子を対象とした事業を32回、三輪で10回実施した。 ・3ヶ月～1歳6ヶ月までの乳幼児親子を対象とした事業を6回実施した。 ○子どもセンターただON <ul style="list-style-type: none"> ・0歳～就学前までの乳幼児親子を対象とした事業を27回実施した。 ・0歳～1歳3か月までの乳幼児親子を対象とした事業を2回実施した。 ・1歳6か月～就学前の乳幼児親子を対象とした事業を1回実施した。 ・1歳6か月～3歳までの乳幼児親子を対象とした事業を1回実施した。 ・忠生地域子育て相談センターと連携し、乳幼児とその保護者を対象とした事業を1回実施した。 					

施策1：地域におけるスポーツ推進

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-5		実施主体	児童青少年課		
推進施策	子ども居場所づくりと連携した身体活動の推進					
事業名	スポーツを通じた世代間交流事業					
取り組み内容	<p>当事業は、小学生から高校生までが集える「子どもセンター」及び小学生の放課後の遊び場見守り事業「まちとも」の活動場所にて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が、小・中学生にスポーツの指導をする機会を設ける。 ・地域スポーツクラブによるスポーツ教室と連携し、小・中学生がスポーツを体験する機会を設ける。 					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	企画	実施			→	
実施状況	企画	企画実施	実施	実施	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>○子どもセンターまあち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興課と連携し、小学3年～6年生を対象としたラグビー元日本代表によるラグビー教室を1回実施した。 <p>○子どもセンターばお</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興課と連携し、小学3年～6年生を対象としたラグビー元日本代表によるラグビー教室を1回実施した。 ・相原ファミリースポーツ普及委員会と連携し、幼児～18歳を対象とした事業を1回実施した。 ・中学生～18歳を対象とした事業を24回実施した。 <p>○子どもセンターつるっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興課と連携し、小学3年～6年生を対象としたラグビー元日本代表によるラグビー教室を1回実施した。 ・小学生～18歳を対象とした事業を18回実施した。 ・小学生以上を対象とした教室事業を2回実施した。 ・対象年齢を絞らないバラスポーツ体験事業を1回実施した。 ・玉川大学と連携し、5歳～18歳を対象とした事業を2回実施した。 ・和光大学児童文化研究会と連携し、3歳～18歳とした事業を11回実施した。 <p>○子どもセンターただON</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生～18歳を対象とした事業を27回実施した。 ・スポーツ振興課と連携し、小学3年～6年生を対象としたラグビー元日本代表によるラグビー教室を1回実施した。 ・桜美林大学学生と連携し、小学生を対象とした事業を1回実施した。 <p>○まちとも</p> <p>新たなまちとも実施校において地域スポーツクラブと連携し、放課後活動の充実を図っている。</p>					

施策1：地域におけるスポーツ推進

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-6		実施主体	指導課		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業					
取り組み内容	<p>スポーツ指導員登録制度を利用し、小・中学校のクラブ活動・部活動における各種スポーツの指導者や体育の指導補助者として、スポーツ指導員を学校に派遣する。</p>					
事業目標	指標	スポーツ指導員登録制度の活用	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	—	検討	実施		→	
実施状況	—	—	/	/	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>スポーツ指導員登録制度の確立に至らなかったため、実施計画が先送りとなっている。</p>					

施策1：地域におけるスポーツ推進

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-7		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	食育推進事業					
取り組み内容	栄養学講義や調理実習、就農体験等の食に関するイベント、教室、スポーツ団体の行う事業に対し、支援を行う。					
事業目標	指標	教室・イベント等の実施数	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回	→	年2回	→	年3回	
実施状況	年2回	年2回	年2回	年2回	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	東京都市長会の多摩・島嶼スポーツ振興事業助成金を活用し、地域スポーツクラブであるNPO法人アスレチッククラブ町田(町田ゼルビアスポーツクラブ)による出前スポーツ教室(スポーツ栄養学講座2回含む)を実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-8		実施主体	町田市子どもマラソン大会実行委員会		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	町田市子どもマラソン大会					
取り組み内容	児童を対象に、陸上競技場でマラソン大会を行う。					
事業目標	指標	大会参加人数	計画初期値	1,570人		
			目標水準	2,200人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	1,850人	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人	
実施状況	1,893人	2,058人	2,227人	2,188人	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の募集のため、市内の私立を含む全小学校、市民センター、子どもセンター、体育施設、運動施設等にパンフレットの配布を行い、各小学校から児童に対する参加の働きかけを行った。 大会開催当日は、大会の魅力向上とパラリンピック普及啓発のため、アーチェリー、レース用車椅子の体験ブース等を設置した。 					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-9		実施主体	保健企画課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり推進事業				
取り組み内容	健康づくり推進員研修において、正しい歩き方や靴の選び方などウォーキングに関する研修を実施する。				
事業目標	指標	スポーツに関連する研修の実施回数	計画初期値	年1回	
			目標水準	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		年1回		見直し 実施	
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	
2017年度の具体的な取り組み内容	ストレッチと筋力トレーニングを組み合わせた健康づくりのための運動(町トレ)について、外部講師を招き、研修会を実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-10		実施主体	健康課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	親子栄養講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講習会実施回数	計画初期値	年1回	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		年1回		見直し 実施	
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	
2017年度の具体的な取り組み内容	親子栄養講習会において、健康づくりの基本のひとつである運動について、スポーツトレーナーに講師を依頼し、親子で遊びながらできる運動を実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-11		実施主体	健康課 健康推進課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康教育講座				
取り組み内容	運動に関する講演会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値	年1回	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	見直し 実施	→	→
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	/
2017年度の 具体的な取 組み内容	11月に運動に関する講演会を1回実施した。 日時:2017年11月14日(火)10:00~12:00 会場:健康福祉会館 講習室 講師:東京医科大学八王子医療センター糖尿病内分泌代謝内科 理学療法士・健康運動指導士・日本糖尿病療養指導士 天川淑宏氏 講演会名:動きたくなるココロと動けるカラダ~骨格筋を働かせて糖尿病を予 防しよう~				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-12		実施主体	健康課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値	年4回	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年4回	年2回	見直し 実施	→	→
実施状況	年4回	年2回	年2回	年2回	/
2017年度の 具体的な取 組み内容	健康づくり講習会において、スポーツトレーナーに講師を依頼し、年2回実施 した。運動の継続につながるよう、総合体育館で実施している事業の案内も 行った。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	講師派遣事業					
取り組み内容	地域で健康づくりに取り組んでいる団体に対してスポーツ実技や食育、心の健康等に関する知識のある講師を派遣する。					
事業目標	指標	講師派遣実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	実施			→	
実施状況	検討	検討	1箇所交渉	未実施	/	
	2017年度の具体的な取り組み内容					
体育協会は、競技団体ではない地域の団体との接点が少なく、働きかけることが難しいため、制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要がある。						

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-14		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	既存施設の利用時間の延長等					
取り組み内容	・指定管理者が自主事業として行っている利用時間延長等の取り組みを制度化し、継続する。 ・利用時間の延長を検討する。(屋外スポーツ施設については、夜間照明設備整備に合わせて利用時間延長をする必要がある。)					
事業目標	指標	利用時間を変更した施設数	計画初期値	2施設		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	条例改正(必要に応じて)	施行		→	
実施状況	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	実施 検討	実施	実施	/	
	2017年度の具体的な取り組み内容					
○小野路球場 2016年度に夜間照明設備工事を行い、7/1から夜間利用を開始し、利用時間の延長を図った。 ○室内プール ・7/21～8/31の期間に、開館時間を30分早めるサマータイム営業を行った。 ・プールは4月から、トレーニング室は10月から、毎月最終月曜日公開日に早朝公開を開始した。 ○成瀬クリーンセンターテニスコート ・5～8月に夜間照明設備無しコートの利用時間を延長した。 ・7～8月の土日祝日に早朝時間にコート貸出しを実施した。 ○相原中央公園 ・7～10月に早朝利用として特別開園を実施した。 ・1/2、3にテニスコート、グラウンド、壁打ちテニスコートの特別開園を実施した。 条例改正による利用時間延長の近隣住民への影響について検討した。利用時間の延長は、施設管理費用の増加を招く。また、夜間・早朝時間帯に施設利用することについては、近隣住民への十分な説明と理解が必要になるため、実施にあたっては、慎重に検討する必要がある。						

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-15		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	夜間照明施設整備事業					
取り組み内容	小野路球場をはじめとする市内の既存スポーツ施設に、夜間照明設備を整備する。					
事業目標	指標	夜間照明設置箇所数	計画初期値	7箇所		
			目標水準	12箇所		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討・調整	検討・調整設計	5箇所設置 (計12箇所)	—	—	
実施状況	検討・調整	検討・調整一部設計	1箇所設置	1箇所整備 計画策定		
2017年度の具体的な取り組み内容	2017年度に策定した小山上沼調整池スポーツ施設整備基本計画に、夜間照明設備の整備を盛り込んだ。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-16		実施主体	指定管理者		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	指定管理者による親子スポーツ教室事業					
取り組み内容	親子を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。					
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	2,221名		
			目標水準	2,450名		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	2,250名	2,300名	2,350名	2,400名	2,450名	
実施状況	3,976名	5,767名	16,213名	16,586名		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○総合体育館 ・自立歩行ができる幼児から就学前の子どもとその保護者を対象とした教室を、年齢別5教室(計150回)に分けて実施した。(延参加者数6,346名) ○みどり山球場 ・3月にジャイアンツアカデミー指導による親子ではじめる野球教室を実施した。(参加者数64名) ○室内プール ・夏季期間に毎週末親子参加イベントを開催した。延参加者数4,400名) ・年2回プール祭りを開催した。(延参加者数4,800名) ○成瀬クリーンセンターテニスコート ・5月に親子テニスレッスン&ミニゲーム大会を実施した。(参加者数96名) ○サン町田旭体育館 ・親子と一緒に体操やレクリエーションを行う教室を、3期にわたり実施した。(延参加者数880名) 					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-17		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	スポーツ施設の親子利用促進					
取り組み内容	親子が利用できる施設の提供と周知を行う。					
事業目標	指標	スポーツ施設の親子 利用促進	計画初期値 目標水準	事業実施 継続		
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	実施 施設PR方法 の検討					
実施状況	実施	実施	実施	実施		
2017年度の 具体的な取 組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○総合体育館 ・4歳～就学前の幼児を対象とした事業を定期的実施した。(延参加者数2,908名) ○室内プール ・6～10月に屋外スペースに「幼児テラス」を設置し、プール利用できない乳幼児を対象に開放した。 ・年2回プール祭りを実施し、親子のコミュニケーションの場として提供した。 ・毎月プール、会議室、ロビー等で各種イベントを実施した。 ○成瀬クリーンセンターテニスコート ・テニススクールでキダークラスを実施した。(延参加者数150名) ・4歳～6歳児を対象とした夏休み早期ジュニアレッスンを実施した。(延参加者数79名) ○サン町田旭体育館 ・4歳～就学前の幼児を対象とした体操教室を3期にわたり実施した。(延参加者数1,683名) ○小野路公園 ・昨年に引き続き、管理棟テラスの開放・管理棟内の観覧場所の提供を行った。 ○鶴川中央公園 ・1月～2月中旬の冬季期間を利用し、鶴川球場で親子でボール遊びを実施した。 ○相原中央公園 ・夏季期間に4回多目的広場を特別開放した。 ○野津田公園 ・子育て中の主婦や運動に苦手意識がある子どもをもつ母親が、親子で一緒に参加できるリフレッシュヨガを実施した。 ・野津田公園お楽しみファミリー駅伝を実施した。 					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-18		実施主体	地域スポーツクラブ		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	地域一体型ファミリースポーツ推進事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブにおけるファミリー対象イベントを活性化させる。 (例:体験イベント⇒定期イベント) ・エリア内の地域スポーツクラブと町内会自治会が共同で開催するファミリー対象イベント(ウォーキング等の簡単なものから、地域運動会まで)を実施する。 					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値 目標水準	— 実施		
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	企画・実施					
実施状況	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施		
2017年度の 具体的な取 組み内容	11月に小山地区の地域スポーツクラブ「おやまスポーツ・文化倶楽部」が小山・小山ヶ丘地域住民を対象に多種目のスポーツ体験イベントを開催し、約400人が参加した。イベント開催に当たり、小山地区町内会・自治会連合会でイベントを周知した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-19					実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員				
推進施策	ファミリースポーツの推進										
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業										
取り組み内容	・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。										
事業目標	指標	事業の実施回数				計画初期値	年3回				
						目標水準	年6回				
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度					
		年5回			年6回						
実施状況		年8回	年6回	年6回	年6回						
2017年度の具体的な取り組み内容	小学生とその保護者を対象とした「スポーツにチャレンジ」事業をサン町田旭体育館で5回実施した。また、地元要望により、昨年度に引き続き南第二小学校の子ども会でも実施した。										

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-20					実施主体	スポーツ振興課				
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発										
事業名	民間プログラム連携事業										
取り組み内容	民間スポーツクラブと提携し、働く人のライフスタイルに合わせて民間スポーツ施設を利用できる制度(利用助成)を検討し、実施する。										
事業目標	指標	事業の実施				計画初期値	—				
						目標水準	実施				
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度					
		検討			実施						
実施状況		検討	検討	検討	未実施						
2017年度の具体的な取り組み内容	事業の連携先の選定ができず、制度設計に至らなかった。次期計画策定に向けて、民間事業者との連携のあり方も含めて再検討する必要がある。										

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-21		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発					
事業名	学校温水プールでの教室事業					
取り組み内容	学校温水プールの夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催する。					
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	
	検討		→	実施	→	
実施状況	検討	検討	実施	実施		
2017年度の具体的な取り組み内容	各施設において管理業者が参加者に泳法や練習方法等を指導するワンポイントレッスンを実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-22		実施主体	指定管理者		
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発					
事業名	指定管理者による勤労者スポーツ教室事業					
取り組み内容	夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催し、教室参加者を増やす。					
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施		計画初期値	2,226名	
				目標水準	2,500名	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	
	2,300名	2,350名	2,400名	2,450名	2,500名	
実施状況	2,837名	4,042名	3,371名	5,475名		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○総合体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・7/17に「まちだフィットネスまつり」を実施した。(延参加者数755名) ・夜間プログラム「シェイプボディ」「エアロビクス」を毎週実施した。(延参加者数1,876名) ・土・日に「勤労者バドミントン教室」「初心者アーチェリー教室」「初心者和弓教室」を実施した。(延参加者数874名) ・日曜夜間にお楽しみプログラムを実施した。(延参加者数272名) ・祝日にトレーニング室で限定プログラムを実施した。(延参加者数280名) ○室内プール <ul style="list-style-type: none"> ・水中エアロ教室を実施した。 ・夜間に「かんたん無料レッスン」の水泳教室を毎週実施した。(延参加者合計260名) ・6～10月の夜間に水中エアロD(無料)を毎週開催した。(延参加人数279名) ○サン町田旭体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・平日夜間時間帯に卓球教室を実施した。(延参加者数479名) ○野津田公園 <ul style="list-style-type: none"> ・金曜日夜に『フライデーナイトリレーマラソン』を実施した。(親子ラン・キッズラン・5000m走・キックターゲットなどのサブイベントも含め、約400名参加) 					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-23		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	高齢者スポーツ普及事業					
取り組み内容	既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者に対し、用具の貸与を行う。					
事業目標	指標	用具貸出件数	計画初期値	6件		
			目標水準	8件		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	6件	→	7件	→	8件	
実施状況	6件	2件	6件	1件	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	老人クラブに1件(グラウンドゴルフ)の貸与を行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-24		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	ロコモティブシンドローム対策事業					
取り組み内容	ロコモティブシンドロームに関する知識や体操の啓発を行う。					
事業目標	指標	講習会参加人数	計画初期値	468人		
			目標水準	500人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	460人	470人	480人	490人	500人	
実施状況	423人	413人	471人	250人	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	12高齢者支援センターに「ロコモ予防！歩く力測定会」を委託し、13回開催した。測定会は介護予防サポーター測定チームと協働して運営し、ロコモ予防の普及啓発を行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-25		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	スポーツ指導員育成事業					
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	実施			→	
実施状況	検討	検討	検討	未実施	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※スポーツ指導員の登録・育成・活用について、市内の需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要があるため。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-26		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	〔再掲〕スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業					
取り組み内容	・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。					
事業目標	指標	事業の実施回数	計画初期値	年3回		
			目標水準	年6回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年5回			年6回	→	
実施状況	年8回	年6回	年6回	年6回	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	小学生とその保護者を対象とした「スポーツにチャレンジ」事業をサン町田旭体育館で5回実施した。また、地元要望により、昨年度に引き続き南第二小学校の子ども会で実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-27		実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ大会				
取り組み内容	様々な機関と連携を図り、毎年1回、障がい者スポーツ大会を開催する。				
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年1回	
			目標水準	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回				
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	
2017年度の具体的な取り組み内容	11/3に町田市立総合体育館で開催し、約1,000名(市内福祉事業所及び一般参加者等)の参加があった。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-28		実施主体	障がい福祉課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい児スポーツ教室事業				
取り組み内容	年間30回以上を目標に、障がい児スポーツ教室を開催する。				
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年30回以上	
			目標水準	年30回以上	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年30回以上				
実施状況	年35回	年35回	年36回	年35回	
2017年度の具体的な取り組み内容	サン町田旭体育館で36回、すみれ会館温水プールで35回の教室を開催した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-29		実施主体	指定管理者
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進			
事業名	障がい者スポーツ教室事業			
取り組み内容	障がいのある方のスポーツに対するニーズを把握し、新たな教室を実施する。 教室の実施に際しては、参加希望の方に対して事前相談を行い、それぞれの実情に応じた指導ができるようにする。			
事業目標	指標	新たな教室の実施	計画初期値	—
			目標水準	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	検討	→	実施	→
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	一部実施	実施	実施	実施
2017年度の具体的な取り組み内容	○総合体育館 ・障がい者卓球教室を5回実施した。(延参加者数52名) ・4月～3月に障がい児を対象とした体操教室を実施した。(延参加者数210名) ・8月、3月にポッチャ等障がい者スポーツの体験教室を実施した。(延参加者数60名) ・2月にパラバドミントンやブラインドサッカー等障がい者スポーツの体験イベントを実施した。 ・トレーニングルーム・公開指導で、障がい者対象のトレーニング指導を行っている。 ○サン町田旭体育館 ・障がい者卓球教室を実施した。(延参加者数55名) ・トレーニングルームで、障がい者に対してトレーニング指導を行っている。 利用者のニーズに合わせて、姿勢改善や日常動作の改善等の指導を行っている。 ○野津田公園 夏季、冬季に関東パラ陸上競技協会との共催によりパラ(障がい者)陸上競技教室を計15回開催した。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-30		実施主体	指定管理者
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進			
事業名	障害者スポーツ指導員配置事業			
取り組み内容	市内スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置する。			
事業目標	指標	スポーツ施設への障害者スポーツ指導員の配置	計画初期値	—
			目標水準	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	検討	→	実施	→
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	調査	一部実施	一部実施	実施
2017年度の具体的な取り組み内容	○総合体育館 障害者スポーツ指導員の有資格者を4名配置している。 ○室内プール 初級障害者スポーツ指導員の有資格者を4名配置している。 ○サン町田旭体育館 職員が初級障がい者スポーツ指導員の資格を取得した。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-31		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→
実施状況	検討	検討	検討	未実施	
2017年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※スポーツ指導員の登録・育成・活用について、市内の需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要があるため。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-1		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	地域学校開放推進事業				
取り組み内容	既存の学校施設を、地域のスポーツ活動拠点として位置づけ、地域スポーツクラブを設立する。その中で必要に応じて、シャワー・トイレ・更衣室・ミーティングルーム等を備えたクラブハウス機能を整備する。				
事業目標	指標	クラブハウス機能が整備された数	計画初期値	2箇所	
			目標水準	10箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3箇所 (計5箇所)	新規2箇所 (計7箇所)	新規3箇所 (計10箇所)	—	—
実施状況	1箇所 (計3箇所)	1箇所 (計4箇所)	設計1箇所 (計4箇所)	1箇所 (計5箇所)	
	2017年度の具体的な取り組み内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・12月に七国山小学校クラブハウス施設が完成し、七国山小学校開放運営委員会が中心となって組織した地域スポーツクラブ設立準備団体と連携して、供用開始に向けた準備を行った。 ・2018年4月に地域スポーツクラブの旗揚げとクラブハウスの供用開始を同時に行う。 					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-2		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	学校施設・備品改善事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の修繕や、学校開放に関連する備品の購入をスポーツ振興課で実施できる事務体系を構築する。 ・地域スポーツクラブ整備校を中心に施設修繕や備品購入を実施し、地域のスポーツ活動拠点としてのPRも一体的に図る。 				
事業目標	指標	学校施設開放利用登録者数	計画初期値	11,000人	
			目標水準	13,500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	11,500人	12,000人	12,500人	13,000人	13,500人
実施状況	9,700人	9,298人	8,861人	9,421人	
	2017年度の具体的な取り組み内容				
地域スポーツクラブに対し、設立または運営に要する経費の一部を補助することによって、備品購入を支援した。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備				
事業名	スケートパーク整備事業				
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について検討する。				
事業目標	指標	スケートパーク整備のための検討	計画初期値	—	
			目標水準	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			検討		
実施状況	検討	検討	検討	検討	
2017年度の具体的な取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について引き続き検討した。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-4		実施主体	公園緑地課	
推進施策	公園・緑地等の芝生の整備				
事業名	公園・緑地等の芝生整備事業				
取り組み内容	公園・緑地等で芝生の整備が可能な場所を検討し、整備する。				
事業目標	指標	芝生の整備	計画初期値	—	
			目標水準	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			検討		
実施状況	検討	検討	基本設計	実施設計完了	
2017年度の具体的な取り組み内容	芹ヶ谷公園の拡張区域である都営住宅跡地に芝生広場を設けることとし、実施設計を行った。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	高架下スペースのスポーツ利用					
取り組み内容	小山沼陸橋高架下スペースの一部について、地域と調整し、スポーツ利用できるように整備する。					
事業目標	指標	スポーツ利用のための整備	計画初期値	—		
			目標水準	1箇所		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討			→	1箇所	
実施状況	検討	検討	整備内容決定	整備内容見直し		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが安全にスポーツに親しめる場を提供するため、多摩都市計画道路3・1・6号線(南多摩尾根幹線道路)の高架下に整備された公園「沼中央広場」の一部で壁打ちができるボードとバスケットボールゴール、高さ5メートルの防球ネットの整備に向け調整していたが、地域住民と再度整備内容を見直すことになった。 					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	法政スポーツ教室事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 大学と市との協定にもとづき、共催で、在住・在勤・在学者及び大学近隣住民を対象に、初心者から上級者まで参加できるスポーツ教室を開催する。 ニーズに合った教室を開催するとともに教室情報を広く市民に普及できるように、大学と協力して方策を検討・実施する。 					
事業目標	指標	延べ参加者数	計画初期値	233人		
			目標水準	250人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	240人			→	250人	
実施状況	282人	289人	291人	331人		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 教室情報を広報まちだおよびホームページに掲載し、事業の周知を図った。 昨年度から継続して、大学側と参加者の年齢や居住地域等の問題について情報共有し、町田市との連携の進め方について協議を行った。 					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-7		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	東京家政学院大学テニスコート開放事業					
取り組み内容	大学と市との協定にもとづき、大学のテニスコートを大学が使用しない日・時間に限り、大学周辺の相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民を中心に、無料で開放する。					
事業目標	指標	年間利用率	計画初期値	47%		
			目標水準	70%		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	50%	55%	60%	65%	70%	
実施状況	48.1%	62.7%	60.20%	50.70%		
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>・施設利用の利便性向上のため、大学側と意見交換を行った。 ・利用者への訴求力を高めるため、ホームページの写真等の情報を更新するなど広報活動を強化した。</p> <p>予約希望日・時間の偏りや、利用者の高齢化により季節的に利用率が低下するため、目標値を達成することはできなかった。今後は、大学側とも調整を進め、より一層利用しやすく稼働率が向上するように再検討する。</p> <p>【団体登録数】 2014年度 21団体 2015年度 24団体 2016年度 24団体 2017年度 24団体</p> <p>【団体登録者数】 2014年度 131名 2015年度 145名 2016年度 147名 2017年度 152名</p>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	大学連携推進事業					
取り組み内容	既に連携協力を行っている法政大学・東京家政学院大学以外の市内大学と連携協力し、大学施設を市民が利用できる仕組みを検討・実施する。					
事業目標	指標	市と連携協力している大学数	計画初期値	2大学		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	→	協定締結 実施	→	→	
実施状況	検討	検討	検討	検討		
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 次期計画策定に向け、連携・協力のあり方について市内2大学にヒアリング調査を行った。</p> <p>※大学施設の利用状況は、既に大学の活動で空きがない状況にあり、大学施設(ハード面)の利用の拡大が難しいため、人材活用等のソフト面連携の方法も含めて連携・協力を検討する必要がある。</p>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-9		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進					
事業名	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小・中学校を拠点に、学校開放制度を運営している学校開放運営委員会、及び制度を利用している各利用団体を中心に地域スポーツクラブ設立を働きかける。 ・クラブの設立及び運営に向けて、クラブハウス管理運営委託及び地域スポーツクラブ事業運営補助を実施する。 					
事業目標	指標	地域スポーツクラブ整備数	計画初期値	4団体		
			目標水準	20団体		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	新規3団体 (計7団体)	新規2団体 (計9団体)	新規3団体 (計12団体)	新規4団体 (計16団体)	新規4団体 (計20団体)	
実施状況	1団体 (計5団体)	2団体 (計7団体)	1団体 (計8団体)	0団体 (計8団体)		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・七国山小学校開放運営委員会が中心となり、地域スポーツクラブ準備団体を結成した。2018年4月に地域スポーツクラブの旗揚げを予定している。 ・2016年度に引き続き、地域スポーツクラブ2団体にクラブハウス管理を委託した。七国山小クラブハウスの管理運営については、新規立上げの地域スポーツクラブに委託する予定で学校・地元と調整を行っている。 					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-10		実施主体	スポーツ推進委員		
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進					
事業名	まちだニュースポーツ推進事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの研究及び市内におけるニュースポーツ活動の状況を把握する。 ・推進する種目の選定及び事業の実施を行う。 					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	企画・検討	→	実施	→	→	
実施状況	検討	企画・検討	実施	実施		
2017年度の具体的な取り組み内容	2016年度から実施している「クップ」に加え、今年度は「ポッチャ」と「手のひら健康バレー」を検討し、サン町田旭体育館での「スポーツにチャレンジ！」や南第二小学校での「子ども教室」で実施した。今後の実施種目や実施方法については、体験した参加者からの声を集約し、検討する。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-11		実施主体	児童青少年課(ひなた村)		
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進					
事業名	キンボールスポーツ事業					
取り組み内容	年間通じ、ひなた村で教室を前期、後期それぞれ8回、また教室のフォローアップとして10回、1時間ずつ、水曜日に実施している。 また、ひなた村のプログラムサービス事業として、地域の学校の学年行事として、またPTAや子ども会からの要請で、学校の体育館を利用し、年間約10校にてキンボール事業を実施しており、事業の拡充を検討する。					
事業目標	指標	プログラムサービス事業実施校	計画初期値	10校		
			目標水準	15校		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	11校	12校	13校	14校	15校	
実施状況	10校	14校	14校	17校		
2017年度の具体的な取り組み内容	夏期学校の学年行事として、又地域の子ども会からの要請で合計17校実施した。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-12		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	大学との協定の締結					
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業					
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。					
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数	計画初期値	—		
			目標水準	3大学		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	制度設計・調整		新規1大学(計1大学)	新規1大学(計2大学)	新規1大学(計3大学)	
実施状況	検討	検討	新規2大学(計2大学)	新規1大学(計3大学)		
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>【2017年度新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人スポーツ塾J.VICとの協働で、日本体育大学の教員が講師となり、中高齢者の女性対象及び未就学児とその親対象の健康体操教室を実施した。 <p>【2016年度から継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人法政クラブとの協働で、法政大学の教員が講師となり、中高齢者の女性対象の健康体操教室を実施した。 ・大原医療秘書公務員専門学校と連携し、学生が市主催のスポーツイベント(市民体カテスト、子どもマラソン大会)に参加した。 <p>※大原医療秘書公務員専門学校との連携も、指標の連携大学数に計上。</p>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	スポーツ指導員登録制度事業					
取り組み内容	スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動等の学校における活動、地域スポーツクラブ及び地域活動へ指導員を紹介する。					
事業目標	指標	登録制度の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	実施		
実施状況	検討	検討	検討	未実施		
2017年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※スポーツ指導員登録制度・育成・活用等について、需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要があるため。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-14		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業					
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。					
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	実施		
実施状況	検討	検討	検討	未実施		
2017年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※スポーツ指導員登録制度・育成・活用等について、需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要があるため。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-15		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり					
事業名	スポーツボランティア活性化事業					
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。					
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」年間延べ活動人数	計画初期値	—		
			目標水準	1,200人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人	
実施状況	2,000人	2,500人	2,300人	2,788人		
2017年度の具体的な取り組み内容	スポーツだけでなく、様々な事業やイベントを紹介し、ボランティア活動の機会を提供した。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-16		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	屋外スポーツ施設維持管理事業					
取り組み内容	・屋外スポーツ施設の維持管理計画を策定する。 ・計画に基づき、維持管理・修繕を進める。					
事業目標	指標	計画に基づく施設整備・修繕の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	→	維持管理 計画策定	施設維持 ・修繕	→	
実施状況	検討	一部修繕	一部修繕 ・検討	一部修繕 ・検討		
2017年度の具体的な取り組み内容	・2016年度に野球場の芝生張替えや成瀬クリーンセンターテニスコートの砂入人工芝整備を行ったため、2017年度は軽微な修繕を実施した。 ・施設維持管理については、財政状況に大きく左右されることが多く、計画策定の検討には至っていない。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-17		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	スポーツ広場の再編成・整備事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場の施設整備方針に基づく整備を行う。 ・施設案内予約システム及び使用料の有料化を導入する。 ・民間活力による(PFI等)手法の導入等、効率的な整備推進を検討する。 ・地域スポーツクラブ設立や指定管理者等による新たな管理運営の視点を検討する。 					
事業目標	指標	スポーツ広場の施設整備及び管理運営の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	方針決定	計画策定	利用団体との調整	設計	整備工事	
実施状況	決定	方針決定	1件着手	実施設計工事		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年1月に緑ヶ丘グラウンド整備工事契約を行った。(2018年10月竣工予定) 					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-18		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	利用種目の見直し					
取り組み内容	寄せられた要望を研究し、多くの市民にとって利用しやすい運用を検討する。利用可能種目を見直し、施設案内予約システムの仕様を変更する。					
事業目標	指標	利用種目の見直しの実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討			→	実施	
実施状況	検討	検討	検討	検討		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き施設の有効活用の観点から、グラウンドゴルフ等の屋外種目について、利用可能種目の追加について検討した。 ・公園緑地課を含む関係部署と協議し、施設案内予約システムの利用可能種目についての課題を共有した。 					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-1		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充					
事業名	ホームタウン活動マッチング事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域祭事や地域貢献活動に関わる自治会町内会などの地域団体に対して、ホームタウンチームに関する情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。 ・市主催事業などについて、庁内で横断的な連絡・調整を図り、ホームタウンチームが地域に浸透する機会を創出する。 ・ホームタウンチームのホームタウン活動について、広報の支援を行う。 					
事業目標	指標	地域祭事、地域貢献活動、市主催事業等へのホームタウンチームの参加回数		計画初期値	70回	
				目標水準	140回	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	80回		90回	100回	120回	140回
実施状況	139回		145回	222回	144回	
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催事業の積極的な情報提供と、ホームタウンチームと庁内他部署との連絡・調整をしたことにより、ホームタウンチームを地域にPRする場を創出した。2017年度からは、新たにホームタウンチームが教育現場に進出できる機会を創出した。 ・キャノンイーグルスは今季ホームゲームを開催しなかったが、ホームページでチームのファン感謝イベントのPRを行った。 					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-2		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	市内小・中学校との連携促進					
事業名	ホームタウンチームスポーツ普及啓発事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等を対象に、ホームタウンチームの主催する出前スポーツ教室とマッチング等を行い、支援する。 ・出前スポーツ教室の内容を拡充し、単なる競技だけでなく、スポーツ栄養学や職場体験、職業講座などの新たな取り組みも支援していく。 					
事業目標	指標	ホームタウンチームによる出前スポーツ教室等の延べ実施回数		計画初期値	54回	
				目標水準	150回	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	60回		80回	100回	120回	150回
実施状況	59回		83回	115回	167回	
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>東京都市長会の多摩・島嶼スポーツ振興事業助成金を活用し、FC町田ゼルビアをトップチームとする地域スポーツクラブであるNPO法人アスレチッククラブ町田(町田ゼルビアスポーツクラブ)を中心として、出前スポーツ教室を167回開催した。</p>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
(2) 運営支援

番号	3-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム開催周知連携事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチームと町内会・自治会や商店街、学校等をマッチングし、ホームゲームの開催周知や観戦招待などの取り組みを支援する。 ホームタウンチームや、その運営を支えるボランティアが行う街頭周知活動等の取り組みについて、周知機会の提供やマッチング等により支援する。 				
事業目標	指標	ホームタウンチームホームゲームの年間観戦者数	計画初期値	69,503人	
			目標水準	17万人	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		8万人	10万人	12万人	14万人
実施状況		70,345人	107,585人	131,181人	99,377人
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>○FC町田ゼルビア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J2リーグ開幕戦に合わせて、FC町田ゼルビア応援ウィークを初開催し、市職員によるユニフォームデーや町田駅前ポスタージャック等を行った結果、開幕戦の観客動員数が8,124人となった。 ・今シーズンは天候に恵まれない日もあったが、通年で町内会自治会への告知や市内小中学校の児童・生徒へのPR活動に努め、年間観戦者数85,177人となった。 <p>○ASVペスカドーラ町田</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校の児童・生徒を対象に、ホームゲームの割引券付広告を配布し、観客数増加を支援し、リーグ公式戦の計11試合の観客動員数が14,160人となった。 				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
(2) 運営支援

番号	3-4		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームゲームの運営体制を支えるボランティア活動の支援をするとともに、まちだサポーターズとも連携した取り組みを行う。 ・ホームゲームの会場への交通アクセス等に関する取り組みを支援し、その向上に努める。 				
事業目標	指標	ホームタウンチームのホームゲームにおけるボランティアスタッフの年間延べ活動人数	計画初期値	1,740人	
			目標水準	2,500人	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		2,100人	2,200人	2,300人	2,400人
実施状況		2342人	2382人	2,404人	2,514人
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>○FC町田ゼルビア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームがJ2リーグに定着し、1試合約100人の運営ボランティアの参加が維持できている。まちだサポーターズからの参加希望も多い。 ・野津田公園から鶴川駅行の直行バスの運行について、よりスピーディーに来場者を輸送できる方法を模索し、試行した。 <p>○ASVペスカドーラ町田</p> <ul style="list-style-type: none"> まちだサポーターズから一定の参加が確保されているが、一日に複数試合開催される場合、まちだサポーターズの活動体制とのミスマッチがあり、活動体制の見直し・改善が必要となった。今後はリーグの運営体制に対応できるボランティア体制の構築が必要となる。 				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
(2) 運営支援

番号	3-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	試合会場・練習会場の優先確保					
事業名	ホームタウンチーム施設利用支援事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の利用時間枠の見直し等により、全体の利用率を拡大し、ホームタウンチームの利用率も拡大する。 ・ホームタウンチームの自主的な練習施設確保の取り組みを支援する。 ・ホームタウンチームがスポーツ施設を利用する際の施設利用料等の負担を軽減させる。 					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討		→	実施		→
実施状況	検討		一部実施	実施		→
						↘
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>○FC町田ゼルビア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場の利用について、公園緑地課及び指定管理者と調整し、円滑な運用を継続した。 ・自主的な練習施設確保の取組みを支援した。 <p>○ASVベスカドーラ町田</p> <p>安定した練習環境の確保のため、検討を開始した。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、町田市もキャンプ地招致活動を行っている中で、ホームタウンチームが今後も安定した練習場の確保ができるように調整していく必要がある。</p>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
(2) 運営支援

番号	3-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	サポーターの拡大					
事業名	ホームタウンチーム相互連携事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームで連絡・調整を図る「連絡会(仮称)」を開催し、相互に連携できる環境を整える。 ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームの連携した取り組みを支援する。 					
事業目標	指標	3つのホームタウンチーム合同による連携活動の取り組み数	計画初期値	—		
			目標水準	3回		
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	連絡会の開催			1回	2回	3回
実施状況	協議の場の設定 2クラブによる共同企画実施			2回	3回	3回
						↘
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内のイベントスタジオで「ホームタウンチーム展」を開催し、来庁者に対するPRを行った。 ・FC町田ゼルビア、ASVベスカドーラ町田が連携し、両チームの後援会新規加入者に対して、加入特典として互いの観戦招待券をプレゼントする企画を実施し、観客の増員と新たなファンの獲得を図った。 ・FC町田ゼルビア、ASVベスカドーラ町田が連携し、ポスター新規掲出とチラシ配布によるPRを行った。 					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
 (3) 広報・告知活動の充実

番号	3-7		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進				
事業名	ホームスタジアムホスピタリティ向上事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、ホームタウンチームのチームカラーを生かした広報物の設置等を行うとともに、町田市におけるスポーツの盛り上がりや魅力を発信する。 ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおいて、町田市の魅力を発信するコンテンツを充実させる。 				
事業目標	指標	ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおける町田市の魅力発信活動	計画初期値	JFL全試合実施	
			目標水準	他リーグへ拡充・コンテンツ充実	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業内容設計	実施			
実施状況	事業内容検討一部実施	実施	実施	実施	
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>○FC町田ゼルビア ・J2リーグ開幕戦に合わせて、FC町田ゼルビア応援ウィークを初開催し、市職員によるユニフォームデーや町田駅前ポスタージャック等のPRを行った。</p> <p>○ASVベスカドーラ町田 JR成瀬駅及び市立総合体育館周辺のタペストリーや、総合体育館の懸垂幕を交換し、アリーナ2階階段上スペースに新たに横断幕を設置した。</p>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-1		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部	
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	2019年ラグビーワールドカップ及び 2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 参加国や関係各所への招致活動を行う。 選手やスタッフの宿泊場所を確保するため、関係団体と調整を行う。 市を挙げて「スポーツのまち・町田」をアピールする、機運の醸成を行う。 				
事業目標	指標	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致・ラグビーワールドカップ2019キャンプ地招致	計画初期値	—	
			目標水準	招致	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	招致活動				
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	招致活動	招致活動	招致活動	招致活動	招致活動
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 南アフリカ共和国ラグビー、インドネシアパラバドミントン等について、各国大使館や競技関係者との関係性を構築し、キャンプ地招致を進めた。 ラグビーパブリックビューイング、パラバドミントン日本代表合宿受入、7人制ラグビー女子日本代表候補キャンプ受入等を実施し、市を挙げて気運醸成を行った。 				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-2		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課	
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	全国大会等誘致事業				
取り組み内容	各種の全国大会等の公式試合を町田市で開催してもらえるように大会主催者やクラブチームに対して誘致活動を行う。 ・バドミントン日本リーグ・NBL(ナショナルバスケットボールリーグ(日本))・bjリーグ(日本プロバスケットボールリーグ)・全国高校サッカー選手権大会等				
事業目標	指標	大会開催	計画初期値	—	
			目標水準	大会開催	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	誘致活動 大会開催				
実施状況		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催
2017年度の具体的な取り組み内容	パラバドミントン国際大会を国内で初開催したほか、昨年に引き続き、関東パラ陸上大会、全国車椅子バスケットボール大学選手権大会等を開催し、キャンプ地招致に向けて各団体との関係性を構築した。 ※全日本大学サッカー選手権大会は、工事のため今年度は開催しなかった。				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-3		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	ジャパンラグビートップリーグ大会誘致事業					
取り組み内容	ラグビートップリーグで活躍するキャノンイーグルスの試合を陸上競技場で開催してもらえるようにキャノンイーグルス及び日本ラグビーフットボール協会に対して誘致活動を行う。					
事業目標	指標	大会開催		計画初期値	—	
		2014年度	2015年度	目標水準	大会開催	
実施計画	誘致活動 大会開催	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	競技団体と調整し、開催に向けた誘致活動を行ったが、大会開催に至らなかった。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討					
事業名	競技スポーツの場の整備					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館の得点表示板の更新を行う。 総合体育館に大型バス乗降場を整備する。 室内プール(50mプール)のコースロープを一新し、公認を受ける。 室内プールの電光表示システムを更新する。 総合体育館に大型映像装置を整備する。 陸上競技場に大型映像装置の整備と観客席の増設を行う。 					
事業目標	指標	競技スポーツの場の整備		計画初期値	—	
		2014年度	2015年度	目標水準	整備	
実施計画	総合体育館得点表示板更新・室内プール50mコースロープ購入・公認手続き	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			総合体育館大型バス乗降場整備の検討	総合体育館大型バス乗降場整備設計、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置検討、陸上競技場観客席増設設計、室内プール電光表示システム更新	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置設計、陸上競技場観客席増設設計	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置工事、陸上競技場観客席増設工事
実施状況	実施	検討	実施 検討	実施 検討	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館大型バス乗降場整備の実施設計を行った。 陸上競技場大型映像装置の整備を行った。 陸上競技場観客席増設について基本設計を行った。 陸上競技場トラック改修、備品更新等を行い、日本陸連3種公認を取得した。 陸上競技場に17mラグビーゴールポール設置のための基礎工事及び備品購入を行った。 					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ団体との情報の共有化					
事業名	体育協会等との情報共有の強化					
取り組み内容	・各施設指定管理者及び体育協会と連携し、次年度の施設利用優先受付業務を行う。 ・体育協会との打合せを定期的に行い、加盟団体からの要望・意見を収集する。加盟団体からの要望は、公園緑地課や指定管理者と協議の上で対応を決定する。					
事業目標	指標	体育協会との業務連携	計画初期値	実施		
			目標水準	強化		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	優先受付取扱基準の見直し検討、各団体からの要望への対応検討・実施	施設利用優先受付業務の実施・改善				
実施状況	優先受付業務実施・見直し検討	施設利用優先受付業務の実施・改善	施設利用優先受付業務の実施・改善	施設利用優先受付業務の実施・見直し		
2017年度の具体的な取り組み内容	・町田市体育協会事務局との打合せを定期的に行い、情報共有・連絡を密に行った。 ・スポーツ施設優先受付業務を実施し、施設利用に関する現状の問題点の共有及び課題の抽出を行い、来年度の事業実施に活用する。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり[再掲]					
事業名	[再掲]スポーツボランティア活性化事業					
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。					
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」年間延べ活動人数	計画初期値	—		
			目標水準	1,200人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人	
実施状況	2,000人	2,500人	2,300人	2,788人		
2017年度の具体的な取り組み内容	スポーツだけでなく、様々な事業やイベントを紹介し、ボランティア活動の機会を提供した。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-7		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	大学との協定の締結〔再掲〕					
事業名	〔再掲〕スポーツに関わる人材育成連携事業					
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。					
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数	計画初期値	—		
			目標水準	3大学		
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
実施計画	制度設計・調整		新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)	
実施状況	検討	検討	新規2大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)		
2017年度の具体的な取り組み内容	<p>【2017年度新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人スポーツ塾J.VICとの協働で、日本体育大学の教員が講師となり、中高齢者の女性対象及び未就学児とその親対象の健康体操教室を実施した。 <p>【2016年度から継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人法政クラブとの協働で、法政大学の教員が講師となり、中高齢者の女性対象の健康体操教室を実施した。 ・大原医療秘書公務員専門学校と連携し、学生が市主催のスポーツイベント(市民体カテスト、こどもマラソン大会)に参加した。 <p>※大原医療秘書公務員専門学校との連携も、指標の連携大学数に計上。</p>					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (3) 障がい者スポーツの活性化

番号	4-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供					
事業名	障がい者の競技スポーツ大会誘致					
取り組み内容	障がい者スポーツの中でも、比較的認知度の高い車椅子バスケットボールの大会など障がい者の競技スポーツ大会を積極的に誘致し、継続的な開催を目指す。					
事業目標	指標	障がい者の競技スポーツ大会開催数	計画初期値	1大会		
			目標水準	2大会		
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
実施計画	2大会					
実施状況	2大会	2大会	3大会	3大会		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場において、市と競技団体との協定事業である関東身体障害者陸上競技選手権大会を開催した。 ・総合体育館において、開催実績にある全国車椅子バスケットボール選手権大会のほか、国内初開催となるパラバドミントン国際大会を開催した。 					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-9		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化					
事業名	トップアスリートと市民のつながり創出事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツアワードまちだ」受賞者を中心とするトップアスリートの市内スポーツイベントへの積極的な出演を促進する。 ・小学生、働く世代、高齢者等、世代ごとのミニ「スポーツアワードまちだ」を開催する。 ・ホームページ、SNS、紙媒体などの積極的な活用や新聞、テレビなどのマス媒体への積極的なPRを行うことで、トップアスリートとの交流機会の周知を強化し、市民の参加を促進する。 					
事業目標	指標	トップアスリートとの交流機会の回数	計画初期値	年1回		
			目標水準	年3回		
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		年1回	→	年2回	→	年3回
実施状況		企画	年2回	年3回	年3回	
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3/10に「第8回スポーツアワードまちだ」表彰式を市庁舎で開催した。 ・ASVベスカドーラ町田が総合健康づくりフェアに出展し、チームトレーナーが来場者にトレーニング方法を指導した。(参加者約80名) ・読売ジャイアンツ3軍が小野路球場で練習をする際に、サイン会を実施した。 ・指定管理者の自主事業である、ASVベスカドーラ町田の「フットサル体験会」を広報まちだでPRした。 ※フットサル体験会：ASVベスカドーラ町田の練習を見学した後に、選手を交えて小学生がフットサルを体験できるイベントで、選手と直に交流が可能。 					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-10		実施主体	指定管理者 町田市体育協会		
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化					
事業名	指定管理者によるトップアスリートとの交流イベント実施事業					
取り組み内容	競技団体やホームタウンチームと連携し、トップアスリートが出演、参加するイベントを実施する。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		イベント実施				→
実施状況		実施	実施	実施	実施	
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○総合体育館 ・「まちだ★こどもフェスタ」においてプロのアクロバティックパフォーマーによるパフォーマンスを実施した。(参加者数3,100名) ・「チャレンジマッスル2017」において、ASVベスカドーラ町田、FC町田ゼルビア、日本障がい者バドミントン連盟の特別ブースを設置した。プロのパフォーマーによる「ヨーヨー&輪車」パフォーマンスを実施した。(延参加者数1,093名) ・8月にASVベスカドーラ町田による練習見学会及びフットサル体験会を実施した。(参加者数208名) ・9月～3月に元プロ選手によるバスケットボール教室を実施した。(延参加者数410名) ・9月～10月に元プロ選手によるバレーボール教室を実施した。(延参加者数119名) ・12月にオリンピックによる体操教室を実施した。(参加者数103名) ・1月に実業団陸上部元監督によるランニング教室を実施した。(参加者数60名) ・「トライ・スポーツ！まちだ2018」においてオリンピックによるバドミントン体験教室、ASVベスカドーラ町田によるフットサル体験教室を実施した。(参加者数200名) ・ASVベスカドーラ町田によるフットサルスクールやチャアリーディングスクールを実施した。(延参加者数5,010名) ○室内プール ・カヌーシラローム日本代表選手によるカヌー無料体験を実施した。(参加人数51名) ○サン町田旭体育館 ・現役のトップ選手を指導者として迎え、タッチラグビー・バントワーリング教室を実施した。(延参加者数836名・910名) ○野津田公園 ・「全国統一かけっこチャレンジ2017」において現役のトップアスリートによるかけっこ教室を開催したほか、FC町田ゼルビアとの連携し、イベントを実施した。(延参加者数約250名※昨年度の1.56倍) ・「フライデーナイトリレーマラソン」においてFC町田ゼルビアと連携し、キックターゲットを実施した。 					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-11		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実					
事業名	表敬訪問事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なスポーツをする市民が広く表敬訪問を知り、訪問できるよう、今後の受け入れ方法・周知方法を検討する。 ・出場前であれば、表敬訪問により大会に向けて士気を高めることができ、また、その競技や大会の注目度を上げ広く市民から応援を得ることができるような表敬訪問のあり方を検討する。 ・出場後であれば、功績を称え今後の意欲につながるような表敬訪問のあり方を検討する。 					
事業目標	指標	表敬訪問実施数		計画初期値	25回	
				目標水準	35回	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	25回		→	30回	→	35回
実施状況	17回	15回	23回	24回		
2017年度の具体的な取り組み内容	表敬訪問の受け入れ基準を作成し、周知方法について検討を行った。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-12		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実					
事業名	全国大会等出場者祝金支給事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給する。 ・スポーツの多様化にともない、様々なスポーツの大会に出場する市民に広く支給できるよう、支給要綱を見直す。 ・より制度を広く市民に知ってもらうために、更なる周知方法を検討する。 					
事業目標	指標	祝金支給件数		計画初期値	85件	
				目標水準	150件	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	85件		120件	130件	140件	150件
実施状況	90件	90件	90件	75件		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場者祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給した。 ・表敬訪問等の機会を利用し、申請可能性のある方への周知を行った。 					

施策5：スポーツのまちづくり
 (1) スポーツ・ツーリズムの推進

番号	5-1		実施主体	一般社団法人町田市観光コンベンション協会 産業観光課			
推進施策	スポーツ・ツーリズムの連携促進						
事業名	スポーツ・ツーリズム実施事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチーム応援ツアーの企画 旅行代理店へのPR 						
事業目標	指標	ツアー実施		計画初期値	—		
				目標水準	実施		
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・実施						→
実施状況	実施		実施	未実施	未実施	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	2014年度及び2015年度にホームタウンチーム応援ツアーを実施した際、採算面の課題があり、2016年度の実施を見送った。 2017年度は観光情報交換会で旅行代理店へのPRを行い、旅行代理店によるツアー実施を目指したが、実施には至らなかった。						

施策5：スポーツのまちづくり
 (2) 公園等におけるスポーツ施設の充実

番号	5-2		実施主体	公園緑地課			
推進施策	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備						
事業名	第二次野津田公園整備基本計画推進事業						
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画に基づき、スポーツ施設の整備を進める。当面は、2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致を目指し、既存の陸上競技場と併せて必要な人工芝の多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が85%を超え、人気の高いテニスコートの整備を進める。						
事業目標	指標	野津田公園内におけるスポーツ施設整備箇所数		計画初期値	—		
				目標水準	2箇所		
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	用地測量		都市計画決定 用地買収	基本設計 実施設計	整備	→	
実施状況	用地測量		用地取得交渉	用地取得交渉	一部用地取得完了、一部基本設計完了	/	
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者と用地交渉を進め、都市計画審議会(本審議)に付し、拡張区域の一部を都市計画決定した。 ・地権者と用地交渉を進め、拡張区域の一部を用地取得した。 ・多目的グラウンドの配置検討を行い、拡張区域の一部の基本設計が完了した。 						

施策5：スポーツのまちづくり
 (3) 広域スポーツのブランド化

番号	5-3		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	市民マラソン等の活性化					
事業名	武相マラソン大会支援事業					
取り組み内容	広報、ホームページ、その他メディア等を通じて、武相マラソン大会に関する情報発信・PRを強化する。					
事業目標	指標	参加者数	計画初期値	2,000人		
			目標水準	3,000人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		2,500人	→ 2,750人	→	3,000人	
実施状況	1,700人	1,860人	1,840人	2,286人		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報まちだやホームページを通じ、町田市全域に大会開催に関する情報発信を行った。 ・市の施設で大会開催要項を配布し、参加者募集の周知を行った。 					

施策5：スポーツのまちづくり
 (4) 公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化

番号	5-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ユニバーサルデザインの推進					
事業名	既存スポーツ施設のバリアフリー改修					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 ・サイン改修工事 ・障がい者の競技スポーツ大会開催のための施設整備 ・利用者の要望を取り入れた小規模なバリアフリー改修工事 					
事業目標	指標	改修工事実施施設数	計画初期値	—		
			目標水準	3施設		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		改修計画の検討、営繕課との調整	学校温水プール、木曽中管理事務所のサイン改修実施	営繕課の修繕計画に合わせてトイレ・サイン工事実施 小規模バリアフリー改修		→
実施状況	検討・一部実施	検討	検討	1件工事 1件設計		
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技場 公園緑地課が主体となり、メインスタンドのトイレの洋便器化を実施した。 ○室内プール 営繕課が主体となり、トイレの洋便器化を含め、施設の大規模改修工事の実施設計を行った。(2018～2019年度工事予定) 					

施策5：スポーツのまちづくり
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	スポーツフォーラム活性化事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がより参加しやすい形でのスポーツフォーラムの開催 ・フォーラム内容のフォローアップをホームページで実施 					
事業目標	指標	スポーツフォーラムの見直し		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→		見直し 実施	→	
実施状況	検討	検討	検討	未実施		
2017年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。					

施策5：スポーツのまちづくり
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-6		実施主体	生涯学習センター		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	生涯学習ポータルサイト構築事業					
取り組み内容	講座・講演会情報、活動団体情報、人材情報などの様々な学習情報を手軽に入手できるホームページ(生涯学習ポータルサイト)を構築する。					
事業目標	指標	生涯学習ポータルサイトの構築		計画初期値	—	
				目標水準	構築・稼動(2015年度)	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	運用ルール の 検討	ポータルサイトの構築・稼動		運用	検証	運用改善 実施
実施状況	検討	投稿型アプリ の 調査・研究	検討	子育てサイト を使用した 情報発信		
2017年度の具体的な取り組み内容	独自の生涯学習情報ポータルサイトの導入を検討したが、実施に至らず、既存の生涯学習情報を取り扱うサイトと連携し、効率的な情報発信を考えるうえで、「まちだ子育てサイト」等既存のサイトを使用し、生涯学習情報の発信を行った。					

施策5：スポーツのまちづくり
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-7		実施主体	生涯学習センター	
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	生涯学習NAVI				
取り組み内容	市内もしくは近隣地域で開催され、市民が参加できる講座・講演会、イベントなどの情報や、市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAVI」を発行する。				
事業目標	指標	生涯学習NAVIの配布施設数	計画初期値	65施設	
			目標水準	100施設	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	65施設			→	100施設
実施状況	96施設	97施設	97施設	98施設	
2017年度の具体的な取り組み内容	「生涯学習NAVI 好き！学び！」の配布施設数を市内98施設に増やした。				

施策5：スポーツのまちづくり
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-8		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化				
事業名	スポーツ情報発信・広報支援事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチーム・アスリートの活動情報を町田市ホームページや広報まちだ、市政情報モニター「まちビジョン」、シティセールス(CS)コーナーに掲載する。 ・ホームタウンチームの広報誌やPRポスターを市内各施設・小中学校、掲示板に配布・掲示する。 ・情報誌「スポまち キッズ！」をSportsまちだホームタウン協議会と協働し、作成・発行する。 ・総合体育館情報コーナーの有効活用及び他スポーツ施設の情報コーナーの整備を行う。 				
事業目標	指標	ホームページでのアスリート情報発信件数	計画初期値	134件	
			目標水準	190件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	150件	160件	170件	180件	190件
実施状況	128件	35件	20件	16件	
2017年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの掲載内容について検証し、必要な情報を的確に発信できるように検討した。 ・ホームタウンチームのシーズン開幕・ホームゲーム情報・シーズン結果をホームページに掲載し、各チームの状況をPRした。 <p>〔ホームページでのアスリート情報発信数〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでのアスリート活動情報の掲載：16件 ・ペDESTリアンデッキ電光掲示板へのスポーツ情報の掲載：34件 ・まちビジョンへの掲載：11件 ・「スポまち キッズ！」の発行：年1回 ・各公共施設・小中学校・町内会自治会へのホームタウンチームのポスター・チラシの配布：随時 				